

フランスの高校生が本市に来豊 コウノトリを通して交流しました

10月22日、フランスのアルザス地方の高校生などがコウノトリ野生復帰の取り組み等を学ぶため本市に来訪しました。5月には、本市職員が参加し、コウノトリ野生復帰について学ぶオンライン勉強会も開催しました。

来豊した高校生らはハチゴロウの戸島湿地や県立コウノトリの郷公園、コウノトリ文化館の見学後、近畿大学附属豊岡高等学校で、お互いの取り組みや活動報告を通して交流を行いました。同校鶴部の安田高祐さんは「お互いにコウノトリを守っていききたいという想いがあれば言葉の壁など関係なく、すぐに打ち解けることが出来ました。いろんな国を飛んで渡っていくコウノトリのように、僕も国際理解を深めていきたいです」と話しました。



▲交流の際、初めは英語が通じず、どう話せばいいかと戸惑った様子でしたが、次第に打ち解けていった高校生ら

《問合せ》コウノトリ共生課
☎21-9017

令和6年能登豪雨に係る 災害義援金を募集しています

9月に発生した豪雨により、同地域には甚大な被害が発生しています。本市では豊岡市区長連合会と合同で、能登豪雨により被災された方々の生活再建を支援するため、募金箱を設置し、義援金を募集しています。

設置場所は、市役所本庁舎1階の総合案内、立野庁舎、各振興局窓口および消防本部です。また、区長連合会が各区長を通じて、回覧文書などにより本市との連名で協力の呼び掛けを行っています(強制ではありません)。被災した皆さんへの温かい支援をよろしく願います。



▲市役所本庁舎、立野庁舎、各振興局、消防本部に設置している募金箱

《問合せ》総務課
☎23-1116

市政 ニュース

～主な市政の動き～

10月

19日
・コウノトリ感謝祭
(～20日)

31日

・第75回豊岡市美術展
(～11月4日)

11月

2日

・大雨による豊岡市災害対策本部の設置

3日

・第52回出石お城まつり

4日

・第14回永楽館歌舞伎

5日

・緊急地震速報訓練・津波一斉避難訓練



教育環境の改善と教職員の負担軽減を目指して



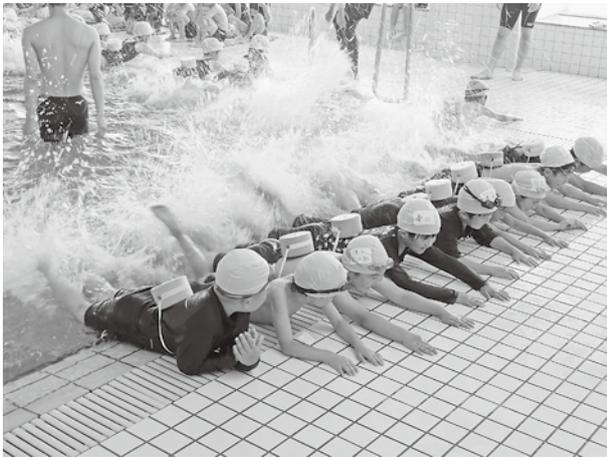
民間施設を活用した水泳授業を実施しました

本市では全ての小学校に屋外プールを整備しています。近年、猛暑や急激な天候の変化などにより、計画通り授業ができないケースが増えてきています。プールの維持管理にかかる教職員の負担や、今後予想される老朽化による大規模改修等に必要となる費用も大きな課題となっています。

これらの課題への対応方法を検討するため、モデル校8校を選定し、外部施設の屋内プールを活用した水泳授業や、インストラクターの派遣を行いました。

児童や教職員へのアンケート調査の結果を次のとおりお知らせします。この結果をもとに、今後、さらに検証を重ね、来年度以降の実施体制を検討していきます。

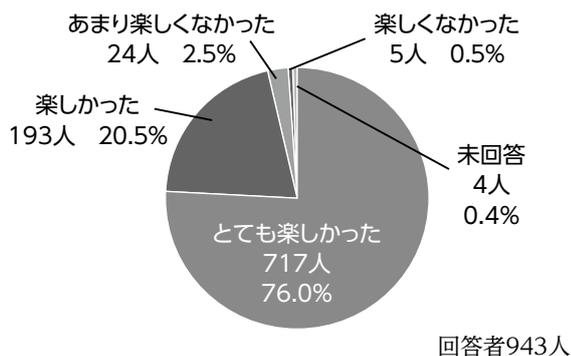
《問合せ》教育総務課 ☎23-1117



▲ウェルストーク豊岡でバタ足の指導を受ける児童

モデル校名	実施場所
豊岡小学校	NSI豊岡スイミングスクール
田鶴野小学校	ウェルストーク豊岡
港小学校	港小（インストラクター派遣）
神美小学校	NSI豊岡スイミングスクール
城崎小学校	港小（インストラクター派遣）
府中小学校	日高東部健康福祉センター
八代小学校	日高東部健康福祉センター
福住小学校	出石B&G海洋センター
計8校	

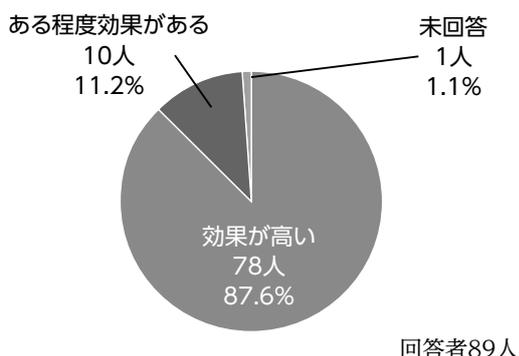
授業を受けた児童の96%が「楽しかった」と回答



《児童の感想》

- ・教え方がとても分かりやすく泳ぎやすかったです。とても成長できた。（4年生）
- ・去年は雨が降ると授業ができなかったけど、雨が降っても授業ができるのでよかった。コーチがやさしく教えてくれてとてもよかった。（4年生）
- ・プロのコーチの教え方が分かりやすかった。学校のプールに比べて断然よかった。でも泳ぐのは苦手。（6年生）

教職員は、98%がプロ指導による泳力向上を実感



《教職員の感想・意見》

- ・プロの指導による教育効果は大きく、ほとんどの児童が自分の泳力の向上を感じられていた。
- ・顔をつけることができなかった児童が顔をつけることができるようになった。苦手な児童も得意な児童も皆にとって効果的だった。
- ・水泳指導自体には天候の影響を受けることはないが、徒歩でプールまで移動する場合、大雨や熱中症等を考慮しなければならない。